

平成27年度に建設工事で発生した事故事例（墜落・転落による事故）

事故概要：

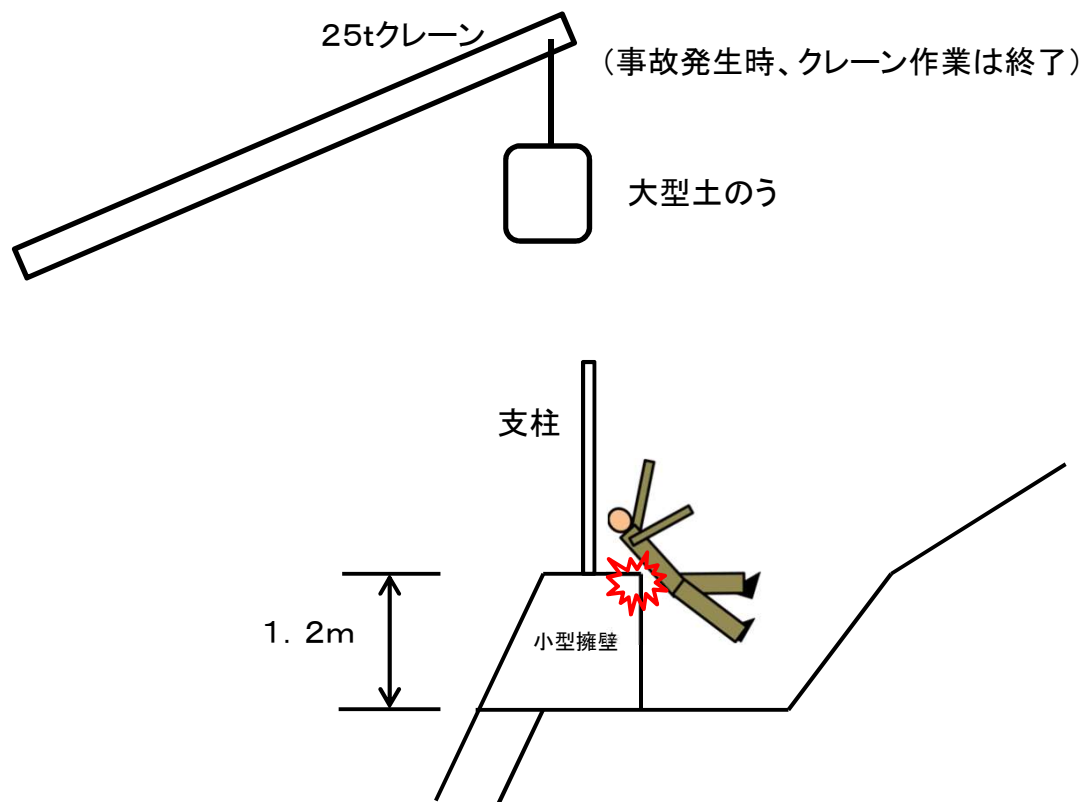
小型擁壁の背面土砂埋戻し作業において、埋戻し土砂を大型土のう袋に詰めてクレーンで荷揚げ作業を小型擁壁上で誘導を行っていた作業員が、昼食のため作業を終了し、安全帯を外して小型擁壁から降りようと方向転換した際、足を踏み外して約1.2m下へ落下し、擁壁で胸部を打って負傷した

事故原因：

- ・本人の不注意

改善対策：

- ・安全教育の徹底



分類：後片付け、移動

被害状況：8日間の入院加療（左胸部挫滅創）

平成30年度に建設工事で発生した事故事例（架空物損傷事故）

【事故概要】

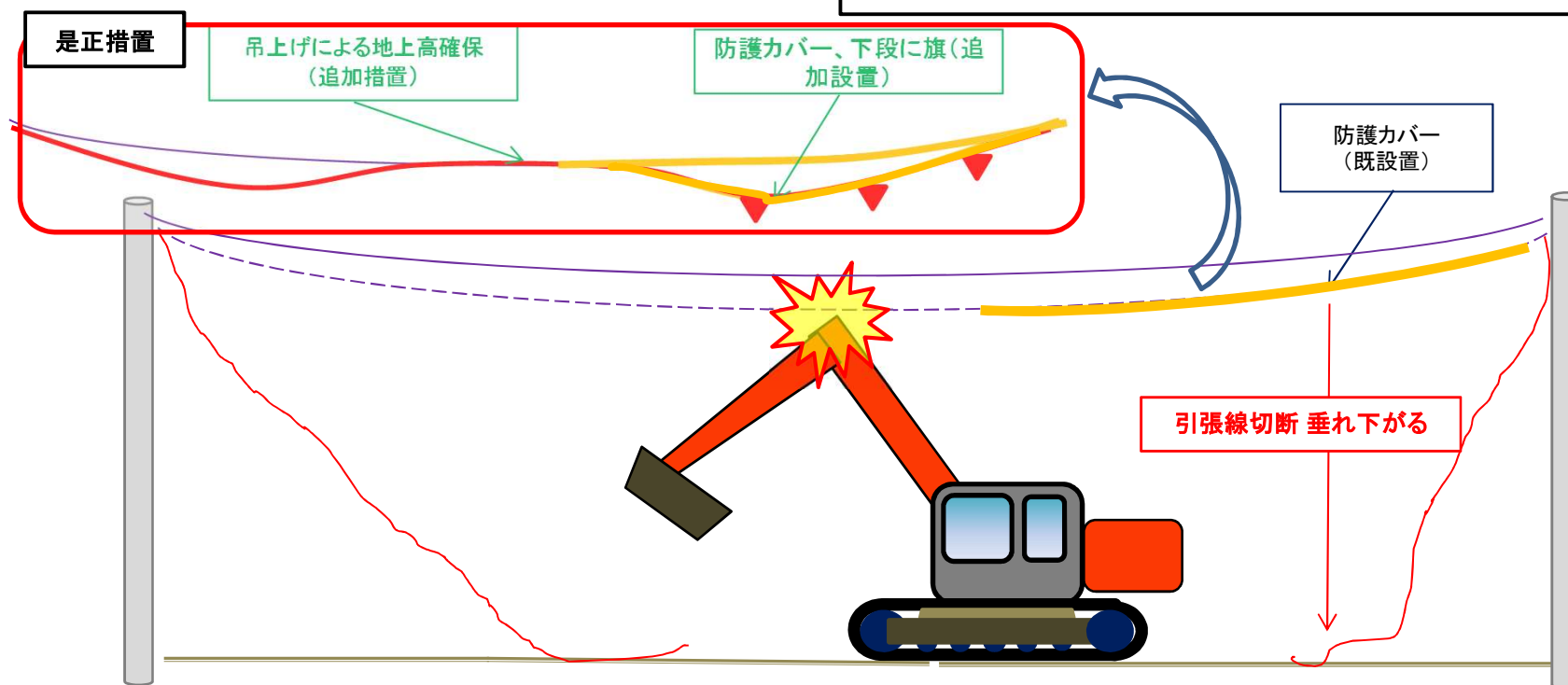
道路改良工事において、バックホウ(0.7m³級)による荷揚げ作業中、残材をダンプに積み込もうとブームを上げた状態で前進し、上空に中電の架空線(仮設補強線(鋼製))があるのを見落とすため、これに接触し切断した。

【事故原因】

・施工計画書の安全対策には「架空線付近での作業を行う場合、必要であれば見張り人を立て切断事故を防止する」と記載されていたが、これが遵守されなかった

【改善対策】

- ・架空線下での重機作業は控える。
- ・架空線は旗付きトラロープ等による位置の明示を行い、架空線付近に看板等を設置して作業員への注意喚起を徹底する。
- ・架空線付近で重機作業を行う際は見張員を設置する。
- ・事故が起きた場合は、自己判断せずに下請は元請に、元請は発注者に必ず報告する。



【分類】 後片付け、BH移動

【被害状況】 中電架空線損傷(引張線切断、送電障害なし)

令和4年度に建設工事で発生した事故事例（火災事故）

【事故概要】

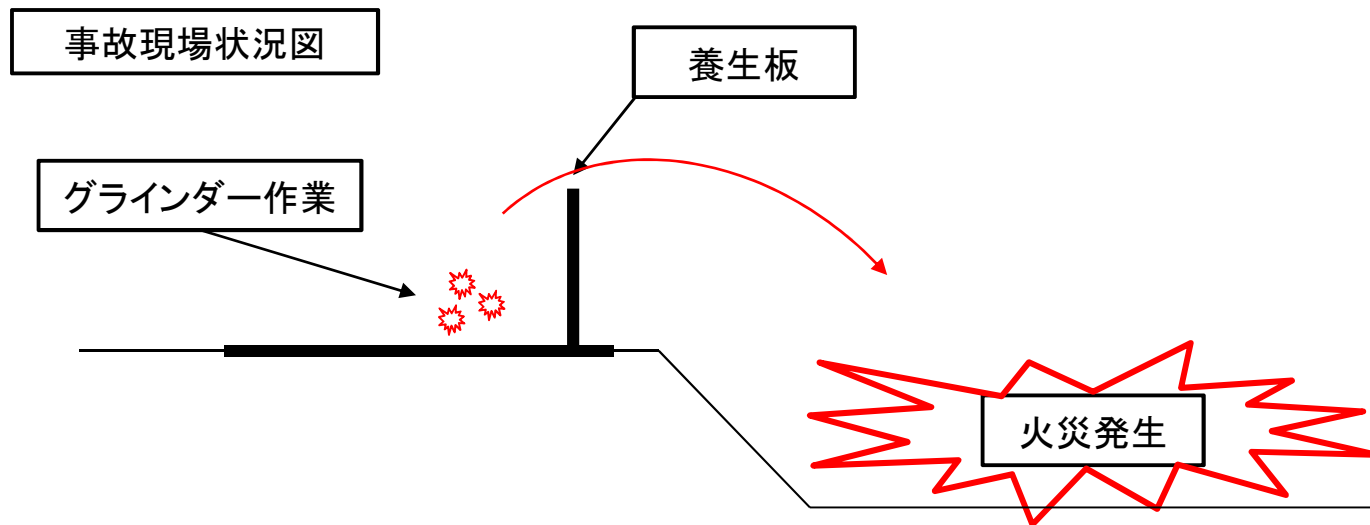
敷設した敷鉄板を撤去するため、グラインダーで溶接部の切断作業を行っていた際、発生した火花が隣接する田の枯草に引火した。

【事故原因】

- ・作業開始前に、周辺に散水し、切断作業は養生板を設置して行ったが、突発的な強風に対する想定がされていなかった。
- ・火災の危険性は認識していたが、施工計画時及び施工時において、不測の事態に対応できるだけの設備や対策が不十分だった。

【改善対策】

- ・強風が予想される日は作業を中止する。
- ・作業前に十分な範囲に散水を行う。
- ・可燃物の除去及び消火設備を準備する。
- ・十分な大きさの防災パネルを設置する。
- ・十分な範囲に不燃性シートを設置する。
- ・「安全教育・安全訓練」において、防火教育を強化し、防火意識を向上させる。



【分類】 仮設工 後片づけ

【被害状況】 公衆物損 田んぼ約1500m²延焼